

子どもたちの歯を守るために

武雄杵島地区歯科医師会

地域保健委員会

野田 正純

武雄市の中学校で フッ化物洗口が始まります

永久歯は、6歳ころから生え始めて
中学時代で生えそろういます。フッ化物
は特に生えたばかりの永久歯に良く効
きますので、せつかく小学校、幼稚園
で効果が出ているのに、中学校でフッ
化物洗口をしなければ、中学生になっ
てからむし歯が増えだす可能性があり
ますので、中学校まではぜひフッ化物
洗口を続けたいものです。

ところが、平成20年度統計によると
佐賀県の小学校では169校（全体の
96%）がフッ化物洗口を実施している
のに対して、中学校ではわずか21校
（20.9%）にとどまっています。

武雄市では今まで山内中学校だけで
実施されていましたが、今年度中に準
備の整った中学校から順次実施される
予定です。

ぜひ武雄が先陣を切って、佐賀県全
体に中学校でのフッ化物洗口の輪を広
げていけたらと思っておりますので、子

供たちの歯を守るために、皆様のご協
力ご理解をよろしくお願い致します。

平成23年度 「がばい良い子の歯科教室」 の開催

6月4日はむし歯予防デーというこ
とで、6月は全国各地で歯に関係した
行事が実施されます。武雄では平成21
年度から「がばい良い子の歯科教室」
を実施しており、今年も開催します。
それぞれの先生が、趣向を凝らした指
導を実施しますので、興味のある方は
ぜひご参観
をお願いします。

日時:6月27日(月)
13時45分～
場所:山内西小学校



昨年の教室の様子(若木小)

3歳児のむし歯が ワースト1に逆行!

平成22年の調査結果から、佐賀県が
3歳児のむし歯保有率で全国ワースト
1になったことが分かりました。その
反面、12歳児のむし歯経験指数では全
国7位という結果となったそうです。

10年前からすると2.74本↓1.
55本と3歳児のむし歯の数は減少し
ているのですが、全国的に3歳児のむ
し歯の数が減少していることも要因の
1つと思われれます。

幼稚園児、小学生に関しては着実に
全国レベルに到達していますが、3歳
未満児に関してはその対策が遅れてい
るようです。武雄市では健診時にフッ
化物塗布を行っておりますが、それだ
けでは不十分なため、乳児のむし歯予
防で大事な点を挙げておきます。

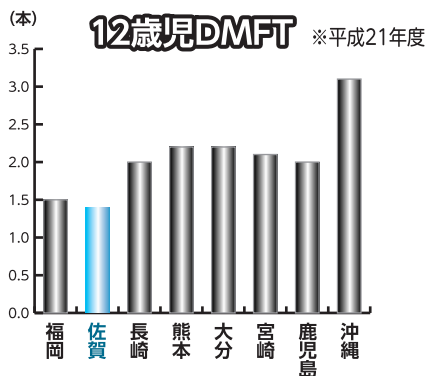
①歯が生えてきたら歯磨きをしてください。
最初のうちは、ガーゼや綿棒から始めて
だんだん歯ブラシに替えていってください。
最低1日3回、朝・昼・夜寝る前です。



②むし歯は家族からうつりますので、大人
がなめたスプーンで離乳食を与えたり、
かみ砕いた食べ物を口移しで与えたりす
るのはやめてください。

③おやつをだらだら与えないようにしてく
ださい。口の中に食べ物が入っている状態
はむし歯になりやすい状態ですので、な
るべく口の中に食べ物が入っている時間を
短くしてください。

後は、定期的にもっと歯科医院を利
用していただけたらと思います。3歳
未満児の治療費は定額制で何回受診し
ても月300円ですので、歯科医師会
でもブラッシング指導、フッ化物塗布、
フッ化物洗口、初期う蝕予防処置等を
推進してまいりますので、どんどん歯
科医院を受診していただきたいと思います。



※DMFT…永久歯の1人当たりの平均むし歯本数